

/ HARU IRO OUSE / MEMORIA / SIGNAL HEART / NATSU NI KANADERU BOKURA NO UTA /

/ ORANGE MEMORIES / HATSUHOI SACRAMENT / PRIMARY STEP / MIRAI NOSTALGIA /

HAPPY BREEDING / NATSU IRO KOMACHI / MAIYURI / AHI IRO RENHA /



PURPLE SOFTWARE
SOUND
CHRONICLE

/ ASHITA NO HIMI TO AU TAMENI / TENSHI NO TAMAGO / PRIMITIVE LINK / ALTO /

PURPLE SOFTWARE
パープルソフトウェアサウンドクロニクル
SOUND CHRONICLE

DISC 1

- 04p 01. 恋になりますように
- 04p 02. いつまでも
- 05p 03. 夏色
- 05p 04. ANYTIME
- 05. 夏色 ~ Vocal Dub A
- 06. 夏色 ~ Vocal Dub B
- 07. ANYTIME ~ Vocal Dub
- 06p 08. Confession
- 07p 09. 秋空の向こう
- 10. -farewell-
- 08p 11. 秋色
- 08p 12. wintry breeze
- 09p 13. together
- 14. 秋色 -hard style arrange-

DISC 2

- 10p 01. L
- 10p 02. Destiny
- 11p 03. Bell of blessing
- 11p 04. 待って! まだまだ
- 12p 05. Reason where you exist
- 13p 06. Quiet night
- 13p 07. 大切なあなたへ……
- 14p 08. 心揺れて
- 14p 09. lovable colors
- 15p 10. Lilith
- 15p 11. コトノハバズル
- 16p 12. TIME
- 16p 13. only…
- 14. TIME -acoustic-
- 17p 15. 恋桜

DISC 3

- 17p 01. Dazzle Pink
- 18p 02. White Crystal
- 19p 03. メモリア
- 20p 04. Signal Heart
- 20p 05. refrain nostalgia
- 21p 06. ナツかしき記憶
- 21p 07. 夏陽炎
- 22p 08. 夏に奏でる僕らの詩
- 23p 09. 遙か ~Baby my wish on a wing~
- 24p 10. 青空の約束
- 24p 11. 君のいない世界
- 25p 12. a heart toward summer
- 26p 13. 未来ノスタルジア
- 26p 14. 未来図

恋になりますように

vocal. 杉沢結花／長崎津久世／海原エレナ／川部法子

「はいっ」

ちょっと背伸びして 引いたルージュ
きつと驚いて 奮めてくれるよね？
ずっと待っていたの 今日のデート
気合入れ過ぎかもね 遅刻しちゃうぞ

日曜日 街に風 振りかえると微笑み 近づいてくる

もしかして 今二人恋におちたの LOVE
ときどきする胸 破裂しそう
夢じゃないよね？ それを祈るだけです
BELIEVE 信じているよ だっていつも 大好き！

古着を見たり ゲームしたり そつと手繋いで 渡る交差点
なんかホッとするの 傍にいと 甘えてもいいですか？ 帰りにたくない

暖かい プレゼント 巡り会えて嬉しい 大切な男性(ひと)

突然ですが かなり恋をしています TRIP ふわふわする程
浮かれています こんな気持ちになるの 多分初めて
LOVE 心こめて たったひとつ 大好き！

は〜いっ

もしかして 今二人恋におちたの LOVE
ときどきする胸 破裂しそう
夢じゃないよね？ それを祈るだけです
BELIEVE 信じているよ だっていつも 大好き！

いつまでも

vocal. 中川玲

突然の雨に慌てる私 包むように見つめてたあの瞳
紛れてるだけ運命の人は 時を待って巡り会おうの
自分の夢以上恋人の夢を 叶えようとしたよね お願い
今度は私にも 出来ることあるはずよね
いつまでも 傍にいたい

誰かのサクセス喜ぶあなた 目をそらしてヤキモチを妬いてたわ
好きよ大好き 言えなかったけど 信じてたのこうなること
自分の夢よりも 名も知らぬ人の 喜びとか悲しみ感じる
大きなその胸で心まで抱き留めてね
いつまでも 傍にいたい

自分の夢以上恋人の夢を 叶えようとしたよね お願い
今度は私にも出来ることあるはずよね
いつまでも 傍にいたい



『夏色小町』

夏色

vocal. 淡雪

眩(まぶしい)光にかざした 掌(てのひら)ポツン
雨が降る はがゆい心が夏の空に 彷徨(さまよ)う貴方の涙ね

裸足で渚を歩けば 二人で笑い声がする
腫(かさね)つ炎(かげろ)う追いかけて転んでから 笑顔の貴方を知らない

いつしか日焼けの痕(あと)が消えてしまうように 痛みもなくなればいいね
いろんな海を見に行こう朝まで 話したね 大きな地図を広げ

真夏の天使がいるなら 微笑みを取り戻してね
雲が白いでしょ 次の季節への大切なエピソードなの

見上げた空から微(かす)かに 冷たい風が吹いてくる
瞳を閉じれば浮かんでくる 虚ろな貴方の眼差し

いつから顔(つまず)くたびに 臆病になるんだろう
忘れてしまえばいいね 哀しいときも思うの
なんかかなるのかな 大きな虹を見てね

真夏の天使がいるなら 空を飛び翼(つば)さ下(くだ)さい
雲が白いでしょ 新しいストーリー一度でも描(か)けためのなの

真夏の天使がいるなら 優(やさ)しさを取り戻してね
空が青いでしょ どんな出来事も繋(つな)いでるプロローグなの

真夏の天使がいるなら 微笑みを取り戻してね
雲が白いでしょ 次の季節への大切なエピソードなの

ANYTIME

vocal. 林田輪朱

and your love 手を伸ばして つかまえて
ねえ、ここに居るの あなたの声 耳の奥で 木霊している forever

ざわめく風は 懐(なつか)しい色だね
ねえ、少し休んだら oh my darling いつでもそば(そば)にいるよ
強(つよ)がりだけじゃ 時として疲(つか)れるよ あなたとは 分かち合(あ)いたいね

anytime あなたの夢も anywhere 哀(あ)しみの日も
今、未来へ続く道よ

for your love 信(ま)じる事 それだけは
ねえ、自信がある 少しでもいい 一緒にいて みつめていたい あなた

and your love 感じている温(ぬ)もりを
ねえ、伝(つた)わるから 離(わか)さないで その手(て)いつも あなただけの forever

sometime あなたの夢も somewhere 希望(きぼう)に満(み)ちて
今、未来へ続く道よ

for your love 優(やさ)しい風 包(か)まれて ねえ、連れて行って
瞳(ひとみ)閉(と)じて感じている そここにいるのは あなた

and your love 手を伸ばして つかまえて
ねえ、ここに居るの あなたの声 耳の奥で 木霊(こだま)している forever



Confession

vocal. 橋本みゆき

教室の窓から 差し込む日の光 輝いて
一日がほら始まるの
穏やかな窓辺に 寄りかかる貴方の姿
鼓動が 加速するの

少しの勇氣 振り絞って
手を振りながら 微笑むの いまはそれだけ

私だけの貴方のその笑顔 見つめているから
離れないのよ いつも
貴方だけの私のこの笑顔 想い溢れるの 気付いて欲しい
この気持ち

夕焼けの空から 伸びる長い影 揺らめいて
静けさがいま訪れる
人気無い廊下を 歩き出す貴方の姿
高鳴る 胸騒ぐの

少しの戸惑い 振り払って
後を追いかけて 声掛ける まずはそこから

私見てる優しいその瞳 信じているから
恋に落ちたの いつか
貴方見てる潤んだこの瞳 想い届けるの 傍にいて欲しい

私だけの貴方のその笑顔 見つめているから
離れないのよ いつも
貴方だけの私のこの笑顔 想い溢れるの 気付いて欲しい

私見てる優しいその瞳 信じているから
恋に落ちたの いつか
貴方見てる潤んだこの瞳 想い届けるの 傍にいて欲しい
いつまでも

秋空の向こう

vocal. 横本みゆき

ねえ 大好きな貴方
ずっと 秘めてる想い 消せない
だけど 瞳の奥には
いつも 貴方がある

悲しくて 切なくて
名前呼んだけど 秋の空 こだまする

貴方となら どこへも行ける
たとえまた それが 二人を別つはずでも
茜に染まる この空の下
その先で見上げる星への願いは
そばにさせて

そう 出会った時から
ずっと 本当の気持ち 言えない
だけど 気がつけば 貴方
ぎゅっと 抱きしめてた

恋しくて 愛しくて
そと振り返れば 今はもう貴方がある

巡り合って また出会うこと
偶然ではない 二人 結ぶ赤い糸
貴方が好きと 今なら言える
私の願いは この空にとけて 貴方の元へと

貴方となら どこへも行ける
たとえまた それが 二人を別つはずでも
茜に染まる この空の下
その先で見上げる星への願いは
そばにさせて



秋色

vocal. 橋本みゆき

そう 落ち葉が舞い散る頃 風と共に 奏でる君の歌 頬を撫でてく
 忘れようとしたのに 弱い私は いつも 頼ってばかりいたよね
 この手伸ばせば 届くかな 指先に 触れる瞬間 伝えたいの すぐに

誰にも負けないよ 君への気持ち 想いをカタチに変え
 駆け出すよ 貴方の元へ迷わず

初めて出会った時 気付かなかった 今は見える気がする
 この胸 秋色 恋紅葉 色付く時よ

ねえ 夕焼けの帰り道 赤く染まる ぎこちなく二人で 手を繋いだ
 気持ちはそうときめて 愛しい貴方 いまも 優しい笑顔見せるね
 瞳そらさず 言えるかな この胸の 溢れる想い 捧げたいの 全部

誰にも譲れない 君への想い すべて投げ出してでも
 飛び込むよ 貴方の胸の中へ

重なる恋心 一つになれば なにも不安などない
 この恋 煌めく 恋紅葉 激しく燃える

誰にも負けないよ 君への気持ち 想いをカタチに変え
 駆け出すよ 貴方の元へ迷わず

初めて出会った時 気付かなかった 今は見える気がする
 この胸 秋色 恋紅葉 色付く時よ

wintry breeze

vocal. 橋本みゆき

一人の 夜が寂しい時は
 貴方の腕の中へと 今すぐ 飛び込みたいよ
 ぬくもりを 思い出すほど 切なくて
 涙が 溢れそうになるから

どれくらい待てばいいのかな
 不安になるけれど
 「愛してる」とその一言に ただずつと
 部屋の中 待ってる私

向かい風に 負けたくらい
 胸の想い 重ねて
 すれ違って また繰り返し
 傷つ度 強くなる
 それでもまた 人は 恋をするの

二人で 町を歩いた時は
 貴方に肩を抱かれて 幸せ とても感じる
 暖かい その手触れれば 愛しくて
 貴方をもっと好きになるから

いつまでも ずっとこのままで
 いけたらいいのに
 別れ際背中見送って ただずつと
 家の前 手を振る私

季節(とき)が流れ 冬が来れば
 想い白く染めていく
 その足跡 覆い隠す 淡い雪が降り積もる
 優しい風 想い乗せて 私を包むの きつと

季節(とき)が流れ 冬が来れば
 想い白く染めていく
 その足跡 覆い隠す 淡い雪が降り積もる
 優しい風 想い乗せて 私を包むの きつと

together

vocal. 木村あやか

思いがけない休みの日 晴れた青空眺めて 知らない街へ出掛けよう 少し胸が躍る

きっと知らない誰かと 友達にもなれるさ

そう考えれば楽しく思えるよ

これからきっと巡り逢う たくさんの大切な人 心に思い出を刻むでしょう

どんなに嬉しいときにも 一人ぼっちじゃ意味ない

だから そばにいるよいつまでも

一人寂しい部屋の中 噂らない電話じっと見て 切ない心忘れよう 気持ち切り替えるの

そうさ仲間集めて 気軽にパーティー開けば

そう悲しみなど消えてしまうはずさ

あなたのこと包み込む みんなの優しい気持ち 心の傷さえも癒すでしょう

どんなに嬉しいときでも 君を支える人がいる

だから 笑えばいいよいつの日も

これからきっと巡り逢う たくさんの大切な人 心に思い出を刻むでしょう

どんなに嬉しいときにも 一人ぼっちじゃ意味ない

だからそばにいるよいつまでも



L

vocal. 橋本みゆき

スタートはいつもL (エル) それは出会いの予感
神様の応援 願いはきつと叶うから

気持ちいい微風吹いて 今日気分はHappy!
空は曇一つなくて 私の予想はLucky!

ね、足取りさえ軽くなるでしょ
どこでもTreasure隠れてるから

恋愛はいつもL LIKEでもLOVEにでも
私だけにYell 期待してるの

スタートはいつもL それは出会いの予感
神様の応援 願いはきつと叶うから

心地いい日差しに合わせ 今日の服少しSexy!
視線も気になるけれど 私の魅力よBeauty!

ね、貴方だけに見せてあげるの
いつだってPleasure溢れてること

恋心それはL LIKEからLOVEになる
私だけにCall 掛けて欲しいの

気付いたらいつも居る 二人もう離れない
永遠のパートナー 私達もう逢えたから

恋心それはL LIKEからLOVEになる
私だけにCall 掛けて欲しいの

スタートはいつもL それは出会いの予感
神様の応援 願いはきつと叶うから

Destiny

vocal. 橋本みゆき

振り返ると あなたがいる 温かな眼差しで
そっと私を包み込む 夕焼けに染まる教室

かかす唇 戸惑いながら けれど離れられなくて
伸びる影追いかけた 手を繋ぎ走り出すの

それは私たちだけの 放課後内緒の帰り道
きつといつまでも続いてく 綺麗な風景

いつまでも前を向いて ずっと一緒に歩きたいね
笑うあなた 微笑む私 それだけで幸せを感じる

出会いはそう偶然でも 今思えばそれは運命
二人を結ぶ赤い糸は もう 切れることはないから

帳が下りて ネオン輝く 駅前は夜の顔で
そっと二人を映し出す 街角のショーウィンドウ

輝く指輪 指差しながら 二人の会話は弾む
きつといつかは叶うでしょう 私たち願いつつ

それは私たち結ぶ 純粋な想いすべて
ずっと変わらない愛の形 素敵な結晶

永遠があるのならば ずっと一緒に過ごしたいね
幸せ満ちて 喜び溢れ 時間の流れさえも忘れる

想い出を積み重ねて 創り出せるものが運命
二人を分かť壁なんて もう 何一つもないから

いつまでも前を向いて ずっと一緒に歩きたいね
笑うあなた 微笑む私 それだけで幸せを感じる

想い出を積み重ねて 創り出せるものが運命
二人を分かť壁なんて もう 何一つもないから

二人を結ぶ赤い糸は もう 切れることはないから

Bell of blessing

vocal. 春野ゆめ (風音)

シャツの裾たらしでどこを見ているの？
あきらめてばかりじゃ 頭グルグルしちゃうよ？
話だけ聞いてよ 顔を背けず
あなただけ素敵な事を教えてあげたい

瞳を開いて
さあジャンプするよ！新しい世界

Ding-Dong 鳴らして 強く大きく
ほら Ding-Dong 私の胸に響き渡るまで
Ding-Dong 大空高くひろがれ
未来へ届いて！
祝福の鐘高らかに

参考書ひろげて何をみつけるの？
落ち込んでばかりじゃ 心モヤモヤしちゃうよ？
教科書にないものもつとあるはずよ
あなたには私の すべて教えてあげたい

深呼吸をして
そうジャンプするよ！二人の世界

Ding-Dong 鳴らして 強く大きく
ほら Ding-Dong あなたもきつと気づいているはず
Ding-Dong 大空高く広がれ
未来へ届いて！
祝福の鐘こだまする

今二人の気持ち繋がる
私の身体(なか)に響くよ
あなたの想いが

Ding-Dong 鳴らして 強く大きく
未来へ届くよ！ 祝福の鐘高らかに
どこまででも行けるよ あなたと二人きり
物語が始まる

待って！ まだまだ

vocal. ティエラ=モレーニ (倉田まりや)

放課後は待ってね 私より早く来て
忘れ物してないか しっかりと確かめてきて
帰り道噴水に腰掛けてひとやすみ
くだらない話して 別れ際寂しくなろう

私のこと好きでいてくれるなら
このくらいのことば聞けるはずよ

ほんの少し待ってて 勇気を今探すから
後ろ向いていて まだよ！
あなただけバクバク ヒミツを全部見せるから
こっち向かないで ...照れくさいのよ

足あとを追いかけろ こっそりと付いて行く
追いついたその背中 いつまでも見つめていたい

私だけに微笑んでほしいから
出来ることはすべてしてあげたい

溢れてくる想いが 私をほら変えてゆく
目を離さないで まだよ！
あなただけバクバク 私を全部あげたいの
こっち向いていて わかってるでしょ

ほんの少し待ってて 勇気を今探すから
後ろ向いていて まだよ！
あなただけバクバク ヒミツを全部見せるから
こっち向かないで ...あなたが好きよ

Reason where you exist

vocal. シオン (鏡 詩音)

音のないこの場所で静かに眠る
遠く呼ぶ声が微かに響く
時代(とき)を超え今ここに再び目覚め
生きる その理由彼方に問いかけている

voices in the night
I don't want to cry
閉ざされた

everytime I fight
putting in my life
深い傷

what I'm living for
do you want to know
本当の自分で

笑いかけてたい あなたに

Reason where I exist さがして
果てない旅を続ける
涙も優しさも 少しずつわかりかけてる

Reason where you exist みつけて
もう怖いものなどない
いつの日かあなたに
抱きしめられるその日を夢見て

夕靨の中ひとり涙を流す
それは懼れと言われてもしい
何もなくなつた生まれ 自然に過ごし
友と語り合い あなたと出会えたならば

voices in my head
feeling your head
人は皆

everytime I try
we don't have much time
思い出しに

what you're asking for
yeah, I want to know
探し 求めている

自分の生きる 答えを

Reason where I exist 気づいて
正しい答えはないと
側にいる誰かと 共に探し続けられたい

Reason where I exist 届いて
もう怖いものなどない
いつの日かあなたと
同じ喜び かみしめてみたい

Reason where I exist さがして
果てない旅を続ける
涙も優しさも 少しずつわかりかけてる

Reason where you exist みつけて
もう怖いものなどない
いつの日かあなたに
抱きしめられるその日を夢見て

Quiet night

vocal. 泉六花 (大花どん)

ひとりベッドで 見上げる星空
あなた重ねて 数を数えてる
いくつかの恋が 流れて消えるの
いくつかの夢が 涙を流すの

まぶたを静かに閉じて
思いの旅(たび)する
手を差し伸べてくれた
あなたのやさしさ

こんなにもこんなにも
切ないほど愛おしい
くるしくてくるしくて
ただ あなたの名前
星に呟くだけの

何にも知らないふりで
心を隠して
強がる私を包む
優しいまなざし

こんなにもこんなにも
切ないほど愛おしい
くるしくてくるしくて
ただ あなたの名前
星に呟くだけの

あなたのことを
じっと見つめるだけのの

大切なあなたへ……

vocal. 泉雨音 (みる)

大切な宝物箱の中しまいこんで
いつの日か思い出す けれども見つからない
伝えあうタイミング 間違えてしまうよりも
胸の中しまいこみ 隠すほうが悲しいでしょう

長くて短いあなたの時間
くじけない魔法かけてあげる
いつも誇らしいあなたの瞳がにこらないように

あなたのこと見つめてる 大切な人がいる
Ask and it shall be given you 空仰いで歩くんだ

ため息は一つずつ 幸せに変えればいい
ため息は本当の 宝物になるはず

長くて短いあなたの時間
くじけない力かけてあげる
いつもやさしいあなたの微笑みなくさないように

何も上手くいかなくて落ち込んでいるよりも
Ask and it shall be given you 空仰いで歩くんだ

あなた見つめてる 大切な人がいる
Ask and it shall be given you 前を見据えて歩くんだ



心揺れて

vocal. リコフェリア=デュエンデ (木村あやか)

スキ…キライ… スキ… キライ…
風 揺れている花びら

スキ…キライ… スキ… キライ…
ただ あてもなく流されて

自分のことなのに 誰より知らないの
この気持ちの行き先を

一緒に笑っていたい
キミをもっと知りたい
でもそんなに見つめないで
側にいられなくなっちゃうから

キラキラ 輝く その微笑を見る度
ゆらめく心は まだどこかへと飛んでゆく

誰かにつかまえて貰わなくちゃ私
自分をなしてしま

手をつないで歩きたい
キミをもっと見たい
でも急に声掛けしないで
ドキドキして何も言えない

一緒に笑っていたい
キミをもっと知りたい
ずっとこのまま側に居たい
言葉交わさなくても幸せなの

これは「スキ」という気持ちなの？

lovable colors

vocal. ゆめ/ティエラ/リコ/シオン/六花

いつもより少し静かな 日曜日の校庭 大きな木の下で
遠くに聞こえる笑い声 あなたの影探している いつも側にいたくて

昨日少しだけ イヤな子だったかも
あなたを困らせて ごめんね
ほんとにほんとうに あなたが好きだから
素直に「好きです」と言えなくて

澄み渡る大きな空 旅をする雲のように
いいえ いそがなくていいの
ゆづりと 流れるように
想いが届けばいい(あなたが好きよ…)
あなたとのこの出会いに ありがとうと伝えたい
とても 大事なものだから
ゆづりと なくさないように
この胸の中そと あたためていく

通り過ぎる風のように 当たり前の毎日 今まで過ごしてた
あなたに出会って見つかった たくさんの数あるもの
私気付かずじいた

寂しさに震えて 眠れなかった夜
涙に明け暮れたあの日も
時間の波を超え あなたに繋がるの
すべてはあなたと過ごすために

明日も今日と同じに晴れ渡った空
“ずつとね あなたと いっしょに すごして いたいの”
きつこの気持ちを ねえ伝えるから

澄み渡る大きな空 旅をする雲のように
いいえ いそがなくていいの
ゆづりと 流れるように
想いが届けばいい(あなたが好きよ…)
あなたとのこの出会いに ありがとうと伝えたい
とても 大事なものだから
ゆづりと なくさないように
あなたと手をつないで あたためていく

『天使のたまご』

Lilith

vocal. Rita

空高く青 輝いた星たち 雲間からこぼれる
光をつかむように 伸ばす手

この場所からはまだ誰も出られず
闇雲に今日と明日 比べては幸せを探す

背中合わせの君の 本当の気持ちこほ
何が隠れているのかを 知りたいのに

見つからない見つからない 試されるゲームの駒のように
動けずに立ちすくむ 天使と悪魔の終わらぬ賭け

「好き」「あいしてる」つまらない言葉を
並べてはかき消して 知らん顔 思いは手の中

今日も背中合わせのまままだ 僕を試す
隠す心の奥にそと 鍵をかけてる

教えてよ教えてよ 行き詰るゲームの行方を
微笑んだ目の奥に くらめいた悪魔が惑わせて

知りたいよ知りたいよ 声を呑むゲームの行方を
平凡な毎日を 少しずつ切り取り惑わせて

コトノハバズル

vocal. Rita

部屋隣の 本棚の奥には
埃を被ったまま 忘れられた本

この場所に あなたと忍び込み
えんじの革表紙を ゆづりりと 開いてみた

あふれる言の葉達から 心を伝える ひとつ
開いた本の隙間から 見つけた今の気持ちと
優しくゆれてる ふたりだけの時間を

こぼれ落ちた「本当」と「偽り」
見えない もやがかり ちりぢりになる

はしけ飛んだ 本当の言葉を 探して組み合わせ
やっと分かるあなたが 隠した言の葉 数多を
パズルのピースみたいに 大事に胸にしまってる

決して無くさないように あなたとはじめて
分かりあえる時間が
こんなに かけがえのない日々だと知った

あふれる言の葉達から 心を伝える ひとつ
少しも変わることのない想いを伝えてゆこう
優しく過ぎゆく ふたりだけの時間で



『明日の君と逢うために -Till I Reach Your Tomorrow-』

TIME

vocal. 橋本みゆき

止まった時計動かすため 僕はここに来たよ
君の笑顔を見るために

空は青く 君の横顔見て 昔と変わらぬ微笑で
穏やかな目 優しさは変わらない その度せつなくなってく

初めての恋 心を奪われている その眼差し 僕だけを見てて

時計の針が動き出して 刻まれて(時間)
また二人の距離が近づいてく
このままずっと歩んで行く 嬉しさも笑顔も ともに感じていくよ

夕焼け空 二人並んで歩く 繋いだ手と手握り締めて
暖かな目 この気持ち変わらない ずっと君を愛してる

初めてのキス 心が溶ろけて行くよ この眼差し 君だけを見てる

時計の針も止まらない 刻まれてく記憶
また二人の思い出増えていく
このまま一緒に過ごして 喜びも涙も ともに分かち合おうよ

時計の針が動き出して 刻まれてく時間
また二人の距離が近づいてく
このままずっと歩んで行く 嬉しさも笑顔も
ともに感じて行くよ ともに分かち合おうよ

only . . .

vocal. 橋本みゆき

水の音 せせらぎ流れてく 草の香り 満たしていく
見上げれば 青空澄みきって
私のこと 包んでく

退屈な 授業を抜け出して とともに向かう いつもの場所
晴れた日は お弁当手にして 同じ時間過ごしてく

ささやかだけど二人の秘密
それでも幸せになれる
私の溢れ出ていく「好き」の気持ち届いて

鮮やかに咲く恋の花 それは私だけのもの
どこにいても 貴方を感じる
私は 待っているから

変わらない授業が終わる頃 すぐに向かう 貴方の席
雨の日は 机間にして 同じ時間刻んでく

そこにはあるの二人の世界
わずかな会話ひとつでも
優しい想い伝わるだけで構わないから

淑やかに咲く恋の花 それは貴方だけのもの
離れても 私はわかるの
いつでも 見つめてるから

鮮やかに咲く恋の花 それは私だけのもの
どこにいても 貴方を感じる
私は 待っているから

淑やかに咲く恋の花 それは貴方だけのもの
離れても 私はわかるの
いつでも 見つめてるから

二人もう離れないの



恋桜

vocal. 橋本みゆき

春の色した風が連れてきた この予感

好きですなんて言葉 とてもシンプルすぎて 苦しくて
ただ恋しくて 胸が高鳴るのを感じるだけどもね すぐ気づく
1秒だけで始まるの 恋の瞬間が
もし 春が過ぎてても
散ることはない恋桜届かないから それは桜のように 儂(はかな)く
手を伸ばしても まるで塵気楼
舞う花びらが 思い出ごと染め上げ 重なる
春の日差しは 心を溶かす 君の笑顔好きですなんて言えるあなたは素直すぎて 私には
ただ眩しくて 切なくなって胸が痛いこれから待ちわびる
1秒すらも長く感じるのはあなたのせい
また 来年の春
並んで咲くの恋桜頬に触れると すぐに桜のように 色付く
瞳 寄せると 心まで染まる
季節外れの 淡雪すらも溶かす 微笑み
春の日差しは 私を包む 君の笑顔待ちわびる 1秒すらも
長く感じるのはあなたのせい
もし 春が過ぎてても
散ることはない恋桜届かないから それは桜のように 儂(はかな)く
手を伸ばしても まるで塵気楼
舞う花びらが 思い出ごと染め上げ 羽ばたく
春の日差しは 奇跡くれた 君の笑顔

Dazzle Pink

vocal. 橋本みゆき

桜こぼれ舞い散る 春の色 恋の色
涙こぼれ消え入る 懐かしい笑顔
今日を忘れたくない 明日を引き替えにして
だけど散り続けるの 何も出来ないまま速く 伸びる影が 君の側に 寄り添って
消えるガラスの靴は 夕闇に沈む塵気楼待ち続けるわ
a long time Four seasons forever
悲しみも 寂しさも 花と共に散る信じ続けるわ
a long time believed Eternal happiness
言葉より 抱きしめて 季節の数よりも桜色の唇 触れれば赤く染まる
涙伝う頬から 視線造らしそうまた 逢えるからと
今日も自分 はぐらかす
いつもと同じ日々が
繰り返されるなんて嘘ね愛してるから
Anytime please say that it's being loved
好きといえることさえ 時間(とき)があると知る届かなくても
everytime extend a hand catch me
キスで誤魔化さないで 許してしまうから待ち続けるわ
a long time Four seasons forever
悲しみも 寂しさも 花と共に散る信じ続けるわ
a long time believed Eternal happiness
季節さえ飛び越えて あなたに逢うために

White Crystal

vocal. 橋本みゆき

思い出 白く積もる 二人の足跡
 振り返ると 消えかかった
 出会いと 別れの日々 繰り返す度
 いつか 恋すること怖くなる

離さないよ 今 抱きしめられると 忘れていた 大事なこと
 粉雪 伝う 君の頬の上 解けて消える 儂いクリスタル
 拭い去ると 暖かい

白銀の 世界は ただ 時を染める
 白く白く 全てを包んで
 □にしたら 消えてしまうわ 初雪のように
 風が吹き なびく髪で 振り向いたら 心の中 見透かされそうで
 触れる指と 指を絡めて 握りしめる いつまでも

記憶の 隅に残る 心の傷跡
 思い出すと 泣きそうになる
 いつか 来る別れなら 出会わなければと
 きつと 後悔をしてしまう

抱きしめてと さえ □に出来なくて 立ちつきて 見守るだけ
 粉雪 積もる 真っ白に染め上げ 時が止まる 二人だけの世界
 言葉一つ 言えずに

見つめ合う それだけでも 伝わるから
 ひとつひとつ 噛み締めるように
 手を伸ばせば 溶けてしまふわ 淡雪のように
 勇気だし 歩み出した 近く遠い 距離を話めて 離れないように
 握んだ手を 離さぬように 握りしめる いつまでも

白銀の 世界は ただ 時を染める
 白く白く 全てを包んで
 □にしたら 消えてしまうわ 初雪のように
 風が吹き なびく髪で 振り向いたら 心の中 見透かされそうで
 触れる指と 指を絡めて 握りしめる いつまでも

『メモリア』

メモリア

vocal. 橋本みゆき

追いかけてゆくわ 今すぐに

見失わない目の前の
運命の糸が 導く明かりさえ
好きだけど 好きではないと
頼りない嘘が 好きじゃないから

近づいたら 近づきほど 怖くなってゆく
今のまま時間が 止まって欲しいから
このまま

こぼれ落ちる 涙さえ クリスタル
小さな祈りが 微笑む度に また巡る
煌く風 眩しい冬の朝に咲く花
きつと あなただけに摘み取って欲しいと願うの

たったひとつの言葉だけ
その言葉だけで 強くなる気がした
口にする ひとつことだけの
勇気が無いのは 私のほうね

昨日よりも 明日よりも 好きになっていく
今のままの関係 続いてゆくならば 切ない

こぼれ落ちる 思い出は クリスタル
二人の軌跡が 歩んでゆくとき また一つ
全て包む 優しい陽の光で満たされ
ずっと 隣にいる温もりとあなたの笑顔で

こぼれ落ちる 涙さえ クリスタル
小さな祈りが 微笑む度に また巡る
煌く風 眩しい冬の朝に咲く花
きつと あなただけに摘み取って欲しいと願うの

白く吐いた息が暖かいわ
指先はまだ冷たく凍える
それを見透かしたように 手をつないで
微笑みかけると 黙って握り返すわ

こぼれ落ちる 思い出は クリスタル
二人の軌跡が 歩んでゆくとき また一つ
全て包む 優しい陽の光で満たされ
ずっと 隣にいる温もりとあなたの笑顔で



Signal Heart

vocal. Rita

いつも通りだった 昨日までの自分へEmergency
変わることがいつも 難しいなんてのは嘘だね

目をあげたその先には何がある

どうせ何も見えない 何も分からない
悩むだけの今は蹴り飛ばして
いっそ無理矢理 いっそ楽しみ
心に跳ねたSignal 刻みつけろ

トラブルばかりだと 信じてない神様にひどくJealousy
諦めちゃいけない未来なら 後から着いてくる

目の前のチャンスだけは逃がさない
どんな夢も叶うよきっと叶うよ
感じるまま今を駆け抜けたら
もっと騒いでもっとはしゃいで心に熱いSignal鳴らせ

どうせ何も見えない 何も分からない
悩むだけの今は蹴り飛ばして
いっそ無理矢理いっそ楽しみ
心に跳ねたSignal 刻め みんな

一緒に力合わせて掛け替えない今を派手に生き抜け
もっと過激にもっと飛び切り
心に熱い Signal 刻みつけろ

refrain nostalgia

vocal. Rita

夕日に赤く滲む空が 少しだけ寂しく胸揺らした
速くで呼び合う鳥たちは きっと明日を約束してるよ
ただどこのまま終わることないまま
楽しい時間の出来事も止まればと

変わりがたくないと願ってたって 季節はまた変わって
大切な物だけは 忘れないで

ゆづりと伸びる君の影が 手を振れば二人染める夕闇
どうかいつまで離れたいのに 紅葉もやがては冬風に変えるから
始まりのそのために何度も 季節はまた巡って
大切なものほども 色あせない

思い出はいつまでも輝く ずっとずっと変わらない
大切な君がほら 笑うように
始まりのそのために何度も 季節はまた巡って
大切な君と今 歩きだそう



ナツかしき記憶

vocal. 橋本みゆき

眩しい日差しが射す 砂浜で
足跡 追いかけてゆく と 消える蜃気楼

夢見た たからものは ちっぽけで
おとなになれば つまらないと あきらめるふりで

セピア色した 記憶のアルバムめくり
過ぎてゆく夏の 思い出いまだ 捨てられない

約束を 交わした日から ずっと ずっと 忘れるわけなかった
もう一度 そう もう一度 ずっと ずっと
胸に秘めていた想い 君がいれば すぐに
伝えにゆく と 決めたわ

夕日に 染まる頬を 風がゆく 二人で
並んで歩くと 絡む指と指

語った 夢のこと 恋のこと
このまま 明日へ 続いてくと 勝手に思った

バカみたいだと おどけてみせたあの夜
子供じみていた 記憶を わすれられないから

新しい夏が来たから きっと きっと 変わる気がしていた
太陽がくれたチャンスで きっと きっと 想い届きますように
君に会えた 奇跡
その意味を知る 夏の日

約束を 交わした日から ずっと ずっと 忘れるわけなかった
もう一度 そう もう一度 ずっと ずっと
胸に秘めていた想い 君がいれば すぐに
伝えにゆく と 決めたわ

夏陽炎

vocal. 橋本みゆき

陽炎揺れる先に 立って海を眺める
日焼けした肌に浮かぶ その汗をぬぐう横顔

胸が高鳴るから 暑い日差しよりも
寄せては返す波も 青く澄んだ空さえ
大切な二人の記憶

ねえ忘れないで ずっとずっと 大事な仲間たちを
明日の笑顔を紡ぐ絆 失われない 輝き

星がきらめく夜に 二人並んで歩く
頬撫でる風 髪をかき上げる仕草に照れる

毎日会ってるのに 今日とは特別な日
細く白いその手を 勇気を出して握る
この気持ち重ね合わせて

ねえ届いてるかい もっともっと 心を寄り添わせて
過去と未来をひとつにした 現在(いま)を紡いで奏でる

ねえ忘れないで ずっとずっと 大事な仲間たちを
傍に置いておきたい もっともっと 心を寄り添わせて
過去と未来をひとつにした 現在(いま)を紡いで奏でる

夏に奏でる僕らの詩

vocal. 木村あやか

まぶしい日差しの中 遠くに波の歌声 海へ続く通り道を探して
坂道駆け下りれば 飛び込む光のシャワー
立ち止まった想いを乗せ 風が吹き抜けていく

澄み渡る空 どこまでも どこまでも青く
僕らはいつしか風に揺られ 詩を奏でていた
心の奥に閉じこめた涙の跡も 全て包み優しくさへと変わる

寄せては返す波に 昨日を悔やんだりした
進むことと悩むことは 少し似ているかな

そう誰もが 明日を追い続けてる
でも忘れないで 僕らを強く結ぶ絆を

澄み渡る空 どこまでも どこまでも青く
僕らはいつしか風に揺られ 詩を奏でていた
心の奥に閉じこめた涙の跡も 全て包み優しくさへと変わる



遙か ~Baby my wish on a wing~

vocal. 美郷あき

触れた記憶の 欠片集めて
時のループに 途切れないように
Baby my wish on a wing ココロの鍵を
そっと開けたら 君が笑った

時を駆けて往く星が
思い出を運んだ
身体ごとほら 透き通る距離で
導かれて I wanna be with you
手のひらに光のプリズム
同じメロディを紡いでみる
巻き戻した空にflow夕暮れがひとつ
恋をしているの あれからずっと

淡い記憶で レールは続く
季節は巡る 遠い日の夢
Baby my wish on a wing 雨が上がった
空の匂いは 懐かしい風

遙か見上げた坂道
あの頃と同じ顔で
2人走った 離れない距離で
導いてて Feel the brand new wind

抱きしめた光のプリズム
鮮やかに描く 君の横で
繋いだ指と指slow 強くなれるから
恋をしているの あれからずっと
手のひらに光のプリズム
同じメロディを紡いでみる
巻き戻した空にflow 夕暮れがひとつ
恋をしているの あれからずっと

抱きしめた光のプリズム
鮮やかに描く 君の横で
繋いだ指と指slow 強くなれるから
恋をしているの あれからずっと



青空の約束

vocal. 橋本みゆき

足跡を振り返り 夕日が照らす
とびきりの笑顔が眩しい
大きな瞳の中に 映りこんでいる
自分自身見れなくて

君と歩んだ道が波間に消えてく
何度でもやり直す また

出会いの奇跡繰る 二人だけの今と未来
全部聴に詰めて 永久に共に
これから始まることは 過去へ連なるメッセージ
ずっと繰り返してる 恋の意味探して

どこかへと続く道 果てなく遠く
悩み立ち止まり見上げてる
どこまでも続く空を 君も見ているの
その繋がり信じてる

同じ時を生きてる 心細くて
わがままと分かっている けど

そばにいて吐息がかるほどに抱きしめてほしいの
夢と希望をこめて空へ願う 出会いと別れを重ね
ホントの恋の意味を知る
きつと教えてくれる あなたから聞きたい

時が過ぎ季節流れ 再び出会ったその時
黙ったままでいい 笑顔見せて
千年の時を超えて 幾億の人の中から
君と出会った意味のその答えを知っているような顔で
微笑む君のその笑顔
眩しくて見れない抱きしめて
今すぐ すぐ 大好き

君のいない世界

vocal. 小夏ミナト

君に二度と会えない
そう思うだけで心が壊れそう

強がりな君をわからなくて
何度も同じ喧嘩をしたよね
でも優しいキミはいたはずな顔で
何事もなく話しかけてくれた

いつも僕のとなりにで無邪気に笑う
信じ合える幸せにずっと気づかず

当たり前前日明日がくと思ってたのに
僕の前からシャボンのように消えた

君に二度と会えない
そう思うだけで心が壊れそう

僕の心配を自分の事のように
怒ったり泣いたり 一緒にしてくれたよね
君は今頃なにを思ってるかな
募る思いで張り裂けそう
ねえ会いたいよ...

当たり前前日明日が来ると思ってたのに
君のいない世界にいられない

歩き出した未来(さき)には
絶望という景色にしか見えなかった

過去には戻れない 夢の中でもいい
もしも願いがかなうなら
もう一度 もう一度
ねえ会いたいよ...

当たり前前日明日がくと思ってたのに
僕の前からシャボンのように消えた

走り出した未来(さき)には
あの時と同じ笑顔の君はいない

『プライマリーステップ』

a heart toward summer

vocal. 雪都さお梨

輝く季節に想いを寄せて
夢を見ている恋の始まりを

目覚めて開くカーテン 外は透き通るような青空
飛行機雲が描く曲線 青のキャンバス滲ませる

一番暑い季節が来るね 何か起こる予感で胸が高鳴る

はじける光のプリズム 君と感じ合いたいずっと傍で
真夏の太陽も霞むくらい 熱い思いで焼き付けたいから

きらきら雨上がりの街角 日差しを浴びてきらめく
たまにはこんな通り雨さえ 愛しくなるそんな午後

濡れたブラウス冷たいけれど 仰ぐ空へ優しい虹が架かるよ

ゆらゆら木漏れ日の下でいつか 出会えるあなたを夢見ている
ときめく心を見透かすように 吹き抜けた風 二人を繋いだね

隣で微笑む笑顔 まぶしいあなたに震えた胸
気づけば傍に居てくれた君と 手を取り向かう夏の入り口へ



未来ノスタルジア

vocal. 橋本みゆき

あの夜に約束した 目指すのは過去と未来を繋ぐため

初めてではないけれど 不思議そうに私を見る その顔が切なくて
運命と告げられても 黙って受け入れるなんて 出来なくて今は

懐かしい笑顔を求めた 未来図からそう その背中追いかけて
駆けて行け また自分で切り開いて

何度も 何度でも翔ぶわ

桜色舞う ノスタルジア

零れた涙落ちる前に まだ想い届くように

限られた日々の中で 言いたいことが言えなくて すれ違い切なくて
二人がそこにいること それすらも淡い奇跡で 求めているもった

目の前で微笑む姿は 同じようで今 また繰り返し写る
若い姿 でもそれも愛しいあなた

何度も 言いかけた言葉

桜雨降る ノスタルジア

溢れる気持ち止められない すぐ飛び込んで行きたい

何度も 言いかけた言葉

桜風吹く ノスタルジア

溢れる涙止められない この心君に

大きく伸ばしたこの手と 桜道待つラストシーン
零れた涙落ちる前に 今想い届くように

未来図

vocal. 浅葉リオ

駆け抜けていた時を 思い返す
一人泣いていた日のことを忘れないよ
星の輝く姿 無数の願い

寂しそうに笑う 理由が聞けなくて
目の前の姿が 消え入りそうで怖くなる
いつも問い続けてた意味がわかるよ

二人で語り 声響く 気持ち伝わる今感じ
いつでも傍で肩寄せて 寂しい心 優しく包む

二人で築く幸せを これからずっと永遠に
共に進めば踏み出せる 重ねた夢の未来図を描く

大切な人 心の中はもう 気持ち裏腹でも君は知らない振り

まぶしい太陽 それでも上の空
抱きしめられてなお 心確かめてる

ともに歩んでいく 二人で確かめ築こう
手と手を重ね 明日に向かって行こう

青空へ舞う花吹雪 いつも夢見たあの場所まで
いつでも傍で支え合い 傷つく確 優しい涙

日差しを浴びて溢れ出す あの日交わした約束を
共に歩めば惹かれ合う求めて 気持ち一つになるよ

君と二人で歩いて行く どんな未来も怖くない
あの日二人の約束を護め 今をまっすぐ進む

二人で築く幸せを これからずっと永遠に
共に進めば踏み出せる 重ねた夢の未来図を描く



《取り扱い上のご注意》●ディスクは画面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや消剤等は使用しないで下さい。●ディスクは画面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。

《保管上のご注意》●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクの使用後は、元のケースに入れて保管してください。●スラスチックケースの上に重いものを置いたり、落したりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。



© 2011 Purplesoftware

<http://www.purplesoftware.jp/>